

見学調査報告書

テーマ : 動画収録と対談データの取得
ゼミ名 : 渡辺 岳夫ゼミ
調査日 : 2020年8月16日(日)
調査先 : 東京23FCと東京都農業経営者クラブ
授業科目名 : スポーツ・ビジネス・チャレンジ演習/実習
参加学生数 : 5名

調査の趣旨(目的)

当該講座では、東京23FCと提携し、学生たちが主体的にサッカークラブ経営を学ぶことを目的としている。本講座では5つのグループに分かれて、それぞれ別個のプロジェクトに従事しているが、本グループは東京23FCを単なるサッカークラブとしてではなく、地域社会に貢献する存在として、ホームタウンである江戸川区の住民に認知してもらうことを目指している。そのために、東京23FCの社長と、江戸川区で十代続く小松菜農家の真利子氏に対して、共通の質問を投げかけ、両者の回答をシンクロさせ、最終的に両社とも江戸川区の誇りになることを目指して日々活動を続けているというところに帰着させるような動画の制作を行っている。その動画の撮影場所は、コミュニティスペース「Flatto(フラット)」であり、そこで、西村氏と真利子氏にヒアリングを行うとともに、両者による小松菜料理の製作シーンの撮影なども行う。

調査結果

当日、東京23FCの西村社長と小松菜農家の真利子氏との対談収録を90分に渡り行った。学生たちは、事前にシナリオを周到に準備するとともに、カメラワークについても事前練習を十分に行ってきたために、収録はスムーズかつ成功裡に遂行できた。また、小松菜の新たなレシピを提示し、江戸川区の名産として小松菜を認知してもらうことを目途とした料理シーンの撮影についても、学生たちの事前の下ごしらえや試作の努力のいかいもあり、色合いが斬新であり、味も美味しい、小松菜の「スムージー」と「チジミ」の制作に成功した。今後、これらの収録した動画を編集し、江戸川区の誇りとなるために努力しているという姿を江戸川区民に公開し、東京23FCおよび小松菜の認知度を高めることを目指す。

